



東神楽町共同学校連携

# 事務局だより

NO.10

## 家庭版

発行:20/1/31

東神楽町共同学校  
連携事務室長（中  
学校内：坂田淳哉）

## 連絡先

東神楽中学校  
83-2413（明石）

東神楽小学校  
83-2344（清川）

東聖小学校  
83-3055（箱崎・土  
屋）

忠栄小学校  
83-3205（長谷川）

志比内小学校  
96-2146（松田）

教育委員会  
83-5406（米津）

## ICT 機器整備状況について（全校）

2018 から 2022 年度の期間に整備を求められている小中学校の ICT 機器整備水準は次の通りです。

### ○2022 年までに求められている ICT 機器の整備水準（文科省）

- 1 学習者用コンピュータ **3クラスに1クラス分程度整備**
- 2 指導者用コンピュータ **授業を担当する教師1人1台**
- 3 大型提示装置・実物投影機 **100%整備各普通教室1台、特別教室用として6台**  
（実物投影機は、整備実態を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備）
- 4 **超高速インターネット及び無線 LAN 100%整備**
- 5 **統合型校務支援システム 100%整備**
- 6 **ICT支援員 4校に1人配置**
- 7 上記のほか、学習用ツール（ワープロ・表計算・プレゼンをはじめとする各教科等の学習活動に共通で必要なソフト）、予備用学習者用コンピュータ、充電保管庫、学習用サーバ、校務用サーバ、校務用コンピュータやセキュリティに関するソフトウェアについても整備

町内の小中学校も、既にコンピュータ室に 40 台の PC を整備し、有線 LAN とインターネット接続、町内の小・中学校は今年、iPad を 15 台配備するなど、整備に努めています。

しかしながら、現時点で町内の大規模 3 校は、1, 3 クラスに 1 クラス分の IT 機器、3, 教室の大型提示装置、4, 高速インターネットと高速無線 LAN, 6, ICT 支援員等の教育環境整備については条件を満たしていません。

今後、さらなる整備指針が出てくる可能性もありますので、ますますのスピード感を持って引き続き整備をお願いしていく必要があります。

# 新築校舎視察に行ってきました(事務室)



↑ まるでどこかのシティオフィスのようです。

上川管内の小中学校は、軒並み老朽化が進んでおり、耐震化工事もあわせて改築や新築が始まっています。旭川周辺の町でも、東川小学校、当麻小学校、比布小学校が既に、改築や新築されています。

今回、今後の教育環境整備の参考に、小学校とつなげて新築した比布中学校を視察してきました。



↑ 普通教室には、固定式で電源を入れるとすぐに使えるプロジェクター型電子黒板が設置されています。パソコンから無線で動画を飛ばしたり、デジタル教科書と電子ペンで書き込みなどができます。また、iPadが全生徒分配備されているので、生徒がそれで調べて内容を無線で飛ばして映し出し、情報共有や議論することもできます。

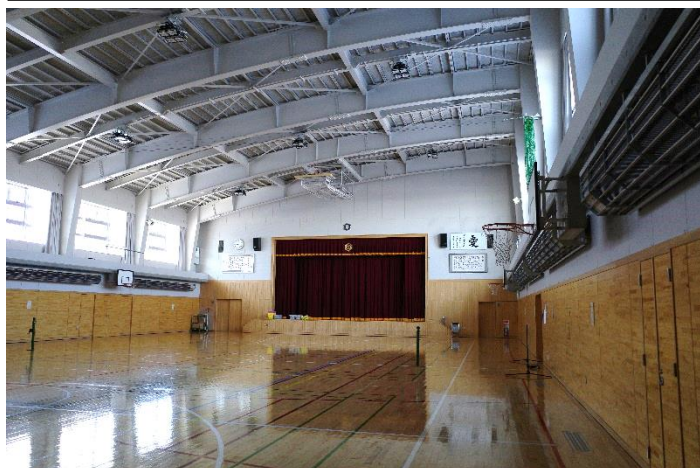


← 手洗い場は自動手洗い。レバーに触れないので、衛生的です。

→ トイレはもちろんウォシュレット。全生徒数に対し十分な数が用意されていました。



← 暖房状況は、職員室から電子パネルで一目瞭然の集中管理。



← 体育館は小学校と共用になっていましたが、これとは別に武道場と呼ばれる小体育館が整備されていました。体育館を含め、校舎内のフローリング床はメンテナンスフリーの特殊なフローリングとなっており、原則としてワックスがけ不要です。

こういったトータルな教育環境整備は、改築などが実施されない限り、なかなか難しいのですが、できるだけ近づけていきたいと思えます。